

大分西部森林管理署交渉(全国林野関連労働組合大分西部森林管理署分会)

議事要旨

1 日 時 令和7年6月25日(水) 17:15～18:15

2 場 所 大分西部森林管理署 会議室

3 出席者

大分西部森林管理署

杉崎 浩史 署長

峰 俊之 次長

浅尾 純治 総括事務管理官

全国林野関連労働組合大分西部森林管理署分会

蒲池 勝也 執行委員長

川原 博 副執行委員長

稲員 友樹 書記長

木下 昂大 執行委員

4 議事概要

(職員団体)

それぞれの職員の課題等について、把握を行っているのか。

(当局)

打合せや人事評価の面談の場を活用しながら、把握に努めているところである。

(職員団体)

契約林の課題解決に向けて、業務の進め方が適切ではなかったことから、スケジュールが窮屈になっているのではないかと考えている。今後の契約林の課題解消に関しては、計画的に行い、職員の負担を増加させないことを求める。

(当局)

一部契約林の課題解決に関して、結果としてスケジュールが窮屈となったことは否めないことから、今後は、順序も含め検討した上で、進めることとしたい。

(職員団体)

超過勤務に関しては、業務量の増加や要員不足が要員で増加していることはまちがいなく、また、年休取得状況についても、超過勤務の状況と連動していると分析している。当局はこのことを十分認識し、超過勤務の縮減及び年次休暇が所得しやすい環境整備を行う必要があるのではないかと。

(当局)

超過勤務と年次休暇の取得状況については、当局としても引き続き各職員の状況を十分把握しつつ、定時退庁日の呼びかけをはじめとする縮減対策等や年次休暇を取得しやすい環境整備に努めることとしたい。

(職員団体)

当署の労働安全確保の取組・対策について、基本的な対策をどのように取り組むのか。

また、当署の心の健康づくりについて、どのように取り組むのか伺う。

(当局)

職員がいつでも心と体が健康であることは、公務災害の防止、効率的な業務運営につながるだけでなく、職場の活性化や家庭生活においても特に重要なものであると考えている。

そのためにも、目配り、気配り等を行いながら、管理者等が率先して明るい職場づくりを心掛けるとともに、職員のストレス状況の把握や要因の軽減、職場環境の向上、良好な人間関係づくり、相談しやすい雰囲気づくりに努めるなど、風通しの良い働きやすい職場づくりに努めることが必要と考えているところであり、ご協力をお願いしたい。

また、職員が心の不健康な状態になったときには、心の健康づくり相談員等の専門家への相談や治療など適切な対応を早期に実施することとし、職場の実情に応じた実効性のある対策を積極的に推進する考えである。

なお、具体的な取組にあたっては、個人のプライバシーに十分配慮して慎重かつ的確に取り組むよう留意してまいりたい。

以上